

「愛・地球博 理念継承エリア検討委員会」
検討状況

1	「愛・地球博 理念継承エリア検討委員会」 開催概要	1
2	公園全体計画における「アイデアのひろば」の性格、展開の方向	2
3	第1回委員会における意見の整理	3
4	「アイデアのひろば」ゾーニング	4
5	テーマゾーンの展開	5
6	第2回委員会における意見の整理	6



1 「愛・地球博 理念継承エリア検討委員会」 開催概要

「愛・地球博 理念継承エリア検討委員会」(第1回、第2回)の開催概要は下記のとおりである。(委員は五十音順)

■第1回

1. 日 時 平成17年11月29日(火) 午後3時30分から午後5時30分
2. 場 所 名古屋マリOTTアソシアホテル 16F「アイリスの間」
3. 出席者 平野眞一委員長、小出宣昭委員、高橋則行委員、萩原喜之委員、福井昌平委員、マリ・クリスティーヌ委員、森徳夫委員、涌井雅之委員の8委員

■第2回

1. 日 時 平成17年12月21日(水) 午後4時から午後5時40分
2. 場 所 名古屋国際センター「ホール」
3. 出席者 平野眞一委員長、小出宣昭委員、高橋治朗委員、高橋則行委員、萩原喜之委員、福井昌平委員、マリ・クリスティーヌ委員、森徳夫委員、涌井雅之委員の9委員

「愛・地球博 理念継承エリア検討委員会」 委員

(委員は五十音順)

	氏 名 (敬称略)	役 職 等
委員長	ひらの しんいち 平野 眞一	国立大学法人名古屋大学総長
委員	かみ お たかし 神尾 隆	社団法人中部経済連合会副会長
	こいで のぶあき 小出 宣昭	中日新聞社常務取締役 編集担当
	たかはし じろう 高橋 治朗	名古屋商工会議所副会頭
	たかはし のりゆき 高橋 則行	愛知県議会議員 国際博覧会継承調査特別委員会委員長
	はぎわら よしゆき 萩原 喜之	NPO中部リサイクル運動市民の会代表
	ふくい しょうへい 福井 昌平	株式会社コミュニケーション・デザイン研究所 代表取締役社長
	マリ・クリスティーヌ	地域・都市・まちづくり研究所代表 国連人間居住計画(ハビタット)親善大使
	もり のりお 森 徳夫	愛知県副知事
	わくい まさゆき 涌井 雅之	桐蔭横浜大学教授

2 公園全体計画における「アイデアのひろば」の性格、展開の方向

「21世紀にふさわしい公園づくり委員会」により検討された「アイデアのひろば」の性格、展開の方向は以下のとおりである。

(1)位置

- ・右図に示す「アイデアのひろば」
- ・北エントランスから迎賓館までのエリア(北駐車場を除く)

(2)面積

- ・約5ha

(3)エリアの性格

- ・博覧会の理念と成果の継承の場

(4)展開の方向

1) 博覧会を記念する展示施設

【場所】 迎賓館・レセプションホール

【内容】 博覧会参加国から贈呈された記念品等の展示

2) 博覧会記念樹の森

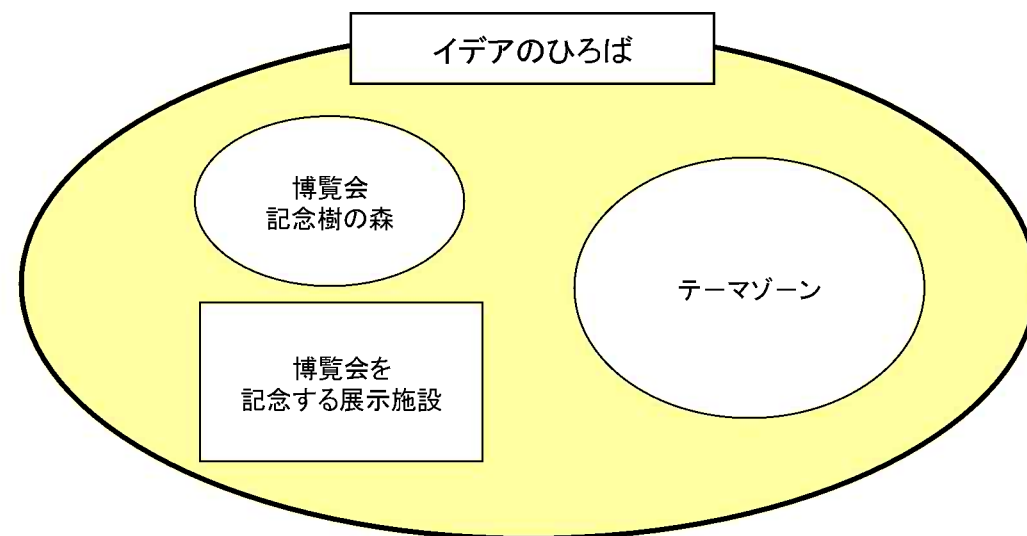
【場所】 ロータリー館跡地

【内容】 博覧会参加国による植樹セレモニーの記念樹を移植

3) 博覧会の理念と成果を引き継いだテーマを展開するゾーン

【場所】 「アイデアのひろば」の東側「テーマゾーン」

■「アイデアのひろば」エリアのイメージ



(5)「21世紀にふさわしい公園づくり委員会」におけるアイデアのひろばに対する意見

- ・公園における博覧会の理念と成果の継承の核となる場としてより発展させるとともに、その内容については公園全体計画との整合を図る必要がある。
- ・公園全体のあり方としては、様々な力を結集しながら、成長する公園(サステナブルパーク)を目指しており、アイデアのひろばの検討においても前提とするべきである。
- ・市民協働も博覧会の成果の重要な要素であることを考慮する必要がある。

■検討エリア



■航空写真 (2005年3月撮影)



3 第1回委員会における意見の整理

前提

健康で精神的な豊かさを楽しみに満ち、県民と共に成長・進化した持続可能な社会を創生

自然の仕組みを学び、地球的課題を克服し、持続可能な社会を創生

博覧会の理念「自然の叡智」

「アイデアのひろば」
博覧会の理念と
成果の継承の場

意見の整理

意見項目	◆博覧会の理念と成果を引き継ぐ展開について	◆具体的な内容
博覧会の理念を継承	●世界との交流、地域発展、市民活動のプラットフォームとして戦略的に展開 ●博覧会理念に相応しい持続可能な地域のモデル、そのシンボルとして市民と共につくる ●子ども達に自然のしくみ、生命の大切さを教える社会性を身につけさせる ●産官学や市民、科学技術交流センターとの連携	○市民参加のエネルギーを継承する「愛・地球市民センター」構想 ・市民参加の継続的な情報・交流センター機能 ・「持続可能な地球社会の創生」に向け、研究・情報発信する「対話と交流」の場 ・「自然との共生」を生かす最先端技術を使用、世界の叡智の結集 ○「愛・地球の日」を制定し、世界と継続的に連帯 ・グローバルな視点で「参加」、「対話」と「交流」を促進する市民参加記念フェスティバルを開催 ○博覧会のパビリオン・イベントを再現するのではなく、博覧会の成果を継承していくことができる場 ○環境学習ができる宿泊施設（自然環境学校） ○生命の大切さにかかわる体験学習の場 ○海外の人々や留学生との交流体験
博覧会を記念する・残す	●国際交流など、地域と各国が関わったこと、人々とのつながりを残す ●100年後も博覧会理念を象徴、永久に語り継ぐ ●博覧会を経験した歴史を共有する楽しみを活かす	○博覧会の国際交流の足跡を残す、人に感動を呼び起こす記念オブジェ ・フレンドシップピンをグローバルループをイメージした場に設置 ○記念植樹の情報拠点、ネットワーク型ガーデン ・各国、各県を代表する樹木や草花をコモン跡地に植樹し、博覧会の意義、体験価値を再生、千年の森、ワナリ・マータイ女史の記念樹などとのリンク ・「こいの池」の南側は、開催国、地域を象徴する記念植樹空間とする ○一緒になにかできる場所 ・万博記念ホール ○万博記念館や万博を象徴するモニュメント
施設具体化の手法	●公園の目標が「サステナビリティ」であり、維持管理に費用を要するものは不適 ●技術進歩が著しいため、先端技術のテーマとすると長くもたない	○パークセンターとの一体整備 ○大規模な建築は不要 ○間伐材の使用促進
その他	●博覧会協会が設置した基本理念継承発展検討委員会とのリンク ●検討エリアを「みんなのひろば」まで拡大 ●「温水プール・アイススケート場」をテーマ展開する場として活用 ●「アイデアのひろば」名称をわかりやすく ●博覧会にあわせて整備されたインフラ（道路、リニモ）を活用 ●博覧会の余韻を活かし、暫定的に人気パビリオンの展示を実施する	

アイデアのひろば 展開の方針(案)

交流

- ・国際、地域、県民による交流を促進
- ・多様な体験交流の場を通じて社会性を獲得

環境

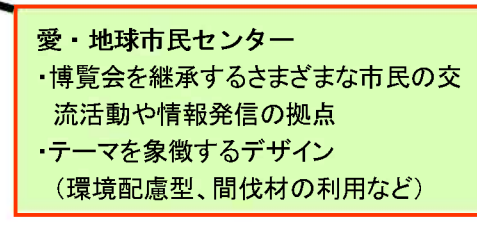
- ・生命の大切さを学ぶ環境学習の場
- ・持続可能な地域形成のシンボルとなる整備

博覧会開催を記念

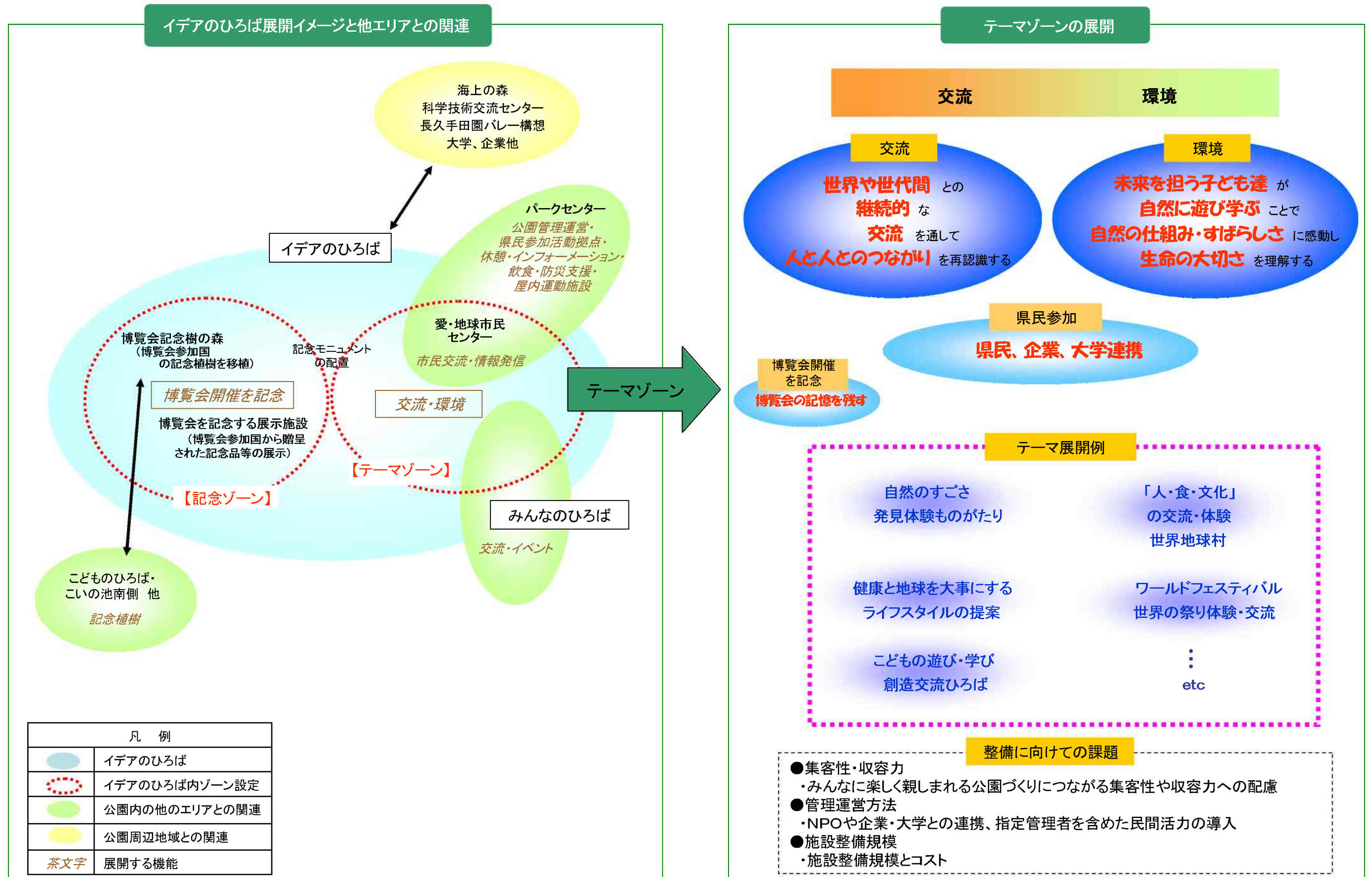
- ・国際交流の足跡を残す
- ・博覧会を共有した歴史を活かす

県民参加

- ・地域の人々(県民、企業、大学、行政など)と共に創り、成長する公園



5 テーマゾーンの展開



6 第2回委員会(2005.12.21)における主な意見

意見項目

意見の整理

テーマゾーンの考え方・ねらい

- ・博覧会を経験した人々の間で**共通の記憶**となるようなものを残す。
- ・次世代も共有して使用が可能となるような**永遠性**をもたせる。
- ・**周辺地域とのバランス**を考え、他の施設と類似・重複しない。
- ・博覧会で示された「生物模倣技術」を継承し、**子供達に科学技術を遊びながら体感**させる。
- ・施設は**多目的、多用途**が良い。
- ・来園者が自らのものという意識をもてる市民参加の形が重要。
- ・「博覧会の理念と成果を継承する都市公園」ということは、公園全体で継承し発展させることであり、アイデアのひろばはその**シンボル**的なもの。
- ・テーマについては、今後絞り込む必要がある。

施設の運営・整備内容について

【運営についての意見】

- ・多様な活動の参加を促し、**使ってもらう**ということを考慮し施設を検討すべき。ソフトは関連するものとして考慮が必要。
- ・**維持管理費がかからない**ものとすべき。
- ・集客性向上のため、**公園を通したコミュニティ**を作り、固定客を確保することが持続可能につながる。
- ・**大学、企業の参画**した運営を行う。

【整備内容についての意見】

- ・後世に博覧会の理念・成果を残すには現在のアイデアのひろばでは狭いので、**こいの池、プール・スケート場等も含めて拡大**すべき。
- ・**パークセンターと地球市民センターは一体化**すべき。
- ・**楽しく見て記憶に残す展示**をする。例えば参加国の特徴的な建物のミニチュアや、万博時の展示された最新技術など。
- ・**永久に一目で万博がここで開催されたことがわかる**ような施設とすべき。例えば、毎年万博にちなんだ集いを開催できるようなモリゾーキックロドームなど。
- ・ゾーンの一体感をもたすため**全天候型大空間**を整備すべき。最新環境技術を取り入れ、膜構造とする。
- ・博覧会での**木材の使用**が賞賛されており、整備にあたっては大部分を木材で整備すべき。
- ・整備費は今のところは議論対象外だが、ある時点で県の負担の考えを示す必要がある。

博覧会協会「基本理念継承発展検討委員会」との関係の考え方

- ・万博協会の理念継承委員会とは**博覧会継承に向けての理念は共有**していく。
- ・万博収益金に関する事項については、本委員会と直接的な関与とは捉えず、公園づくりの中での理念の継承について取組みを示す。